



R1 新技術

1	中村裕幸	株式会社woodinfo 代表取締役
		[テーマ] 地上型3Dレーザスキャナによる森林調査と結果を活用した林業再生
		[発表概要] 森林は日本国土の2/3を占めているが、生産される丸太価格は低迷し、その結果、出材量および適正な森林伐採の低下による森林整備の遅れをもたらしている。林業再生のためには、地形情報および立木個々の付加価値を高める諸情報を基にした戦略的な循環型林業経営が必要である。そこで、地上型3Dレーザスキャナを多地点で計測し、森林を再構築した膨大な点群データから地形、全木の立木位置、樹高、任意位置の幹径および曲り情報を作成するシステムを開発した。システム概要と、実務を通じた実証事業の結果を述べる。
		[自己紹介] 元清水建設技術研究所施工技術統括部長。13年前に独立後、林業及び木材流通業に特化したシステム開発及び運営会社woodinfoを設立。森林再生のため森林証券化を目指している。森林3D地図作製システム「Digital Forest」は森林資源の現状を把握するために開発した。

2	森本吉春	4Dセンサー株式会社 代表取締役会長CEO
		[テーマ] 運動物体のリアルタイム3次元形状計測
		[発表概要] 弊社で最近開発したOPPA (One-Pitch Phase Analysis, 1ピッチ位相解析) 法は、1枚の投影格子画像で位相解析ができるため、高速、高精度な形状・変形計測法となる。この方法を用いて、運動している人体や生産ライン上の部品などの3次元形状計測、振動モード解析、変位・歪分布計測を行なう装置を製作した。これにより、スポーツ中の人体の筋肉の動き、振動中の周波数変化による振動モード、コンベアベルト上の部品の寸法や欠陥検出、橋梁のたわみ分布の時間変化などの計測が可能となる。その原理と装置と計測例を示す。
		[自己紹介] 大阪大学卒業。小松製作所、大阪大学、和歌山大学で材料力学、実験力学、画像計測の研究開発に従事。定年退職後、一般社団法人モアレ研究所、4Dセンサー株式会社を起業。現在、4Dセンサー株式会社代表取締役会長CEO。高速・高精度な形状・変形計測装置を開発中

R2 学会

司会	増田 宏	電気通信大学 情報理工学部 知能機械工学科 教授
		[テーマ] 各研究機関での最新の取り組みを発表いただく
		[発表概要] 後日掲載予定
		[自己紹介]

3		
		[テーマ]
		[発表概要]
		[自己紹介]